

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第3四半期 H23.1.1~ H23.3.31	第4四半期 H23.4.1~ H23.6.30	第1四半期 H23.7.1~ H23.9.30	第2四半期 H23.10.1~ H23.12.31	第3四半期 H24.1.1~ H24.3.31	累計 H23.7.1~ H24.3.31		前年同期累計 H22.7.1~ H23.3.31
I 営業収益	売上高	162,052	169,781	295,535	211,047	204,345	710,928	+9.8%	647,547
II 営業費用	売上原価	169,682	166,182	197,756	195,321	198,886	591,963	+11.8%	529,597
	販売費及び一般管理費	18,901	22,146	20,945	22,188	21,738	64,872	+9.6%	59,163
	営業利益または営業損失(▲)	▲26,531	▲18,547	76,833	▲6,462	▲16,279	54,091	▲8.0%	58,786
III 営業外収益		1,823	457	471	549	822	1,843	▲17.6%	2,236
IV 営業外費用		4,532	12,006	6,258	7,035	7,010	20,305	+41.9%	14,305
	経常利益または経常損失(▲)	▲29,240	▲30,097	71,046	▲12,948	▲22,467	35,629	▲23.7%	46,718
V 特別利益		—	657	—	—	15,768	15,768	—	—
VI 特別損失		—	—	—	0	37	38	—	—
	税引前四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲29,240	▲29,439	71,046	▲12,949	▲6,737	51,359	+9.9%	46,718
	法人税、住民税 四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	1,824	1,876	1,850	1,837	1,837	5,525	+1.0%	5,473
		▲31,065	▲31,315	69,195	▲14,786	▲8,574	45,834	+11.1%	41,245
	期中平均株式数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	—	6,245 株
	1株当たり四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲4,974 円	▲5,014 円	11,080 円	▲2,367 円	▲1,372 円	7,339 円	+734 円	6,605 円
	潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益(注1)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	
		第3四半期末 H23.3.31	第4四半期末 H23.6.30	第1四半期末 H23.9.30	第2四半期末 H23.12.31	第3四半期末 H24.3.31	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	199,878	138,207	195,184	251,133	174,411
		その他	38,099	37,341	36,725	39,005	39,022
		流動資産合計	237,977	175,549	231,909	290,139	213,434
	II 固定資産	リース資産	620,124	611,378	602,632	691,664	681,686
		他の有形固定資産	228,353	234,984	236,142	233,828	290,678
		無形固定資産	1,943	2,162	2,009	1,855	1,702
		投資その他の資産	101,392	98,010	100,695	105,564	122,700
	固定資産合計	951,813	946,535	941,479	1,032,913	1,096,767	
	資産合計	1,189,791	1,122,085	1,173,389	1,323,052	1,310,202	
(負債の部)	I 流動負債		175,368	177,999	180,878	207,739	177,650
		II 固定負債	リース債務	678,211	646,775	639,414	736,168
		他の固定負債(注2)	83,840	76,755	69,590	110,425	144,708
		負債合計	937,419	901,529	889,883	1,054,332	1,050,057
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		その他資本剰余金	41,710	41,710	41,710	41,710	41,710
		利益剰余金 繰越利益剰余金	41,245	9,929	72,879	58,093	49,518
			株主資本合計	251,871	220,555	283,506	268,719
	II 新株予約権	新株引受権	500	—	—	—	—
		純資産合計	252,371	220,555	283,506	268,719	260,145
	負債・純資産合計	1,189,791	1,122,085	1,173,389	1,323,052	1,310,202	
	発行済株式総数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	40,331 円	35,317 円	45,397 円	43,029 円	41,656 円	

(注2) 長期借入金のうち1年以内の返済予定額 46,212 千円は、他の固定負債ではなく、流動負債に含めております。

(3) 株主資本等変動計算書 (平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本					純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	その他利益剰余金		
平成 23 年 7 月 1 日残高	100,000	68,916	41,710	9,929	220,555	220,555
第 1 四半期中の変動額				▲6,245	▲6,245	
配当金						
四半期純利益				+69,195	+69,195	
第 1 四半期中の変動額の合計				+62,950	+62,950	+62,950
平成 23 年 9 月 30 日残高	100,000	68,916	41,710	72,879	283,506	283,506
第 2 四半期中の変動額				▲14,786	▲14,786	
四半期純利益						
第 2 四半期中の変動額の合計				▲14,786	▲14,786	▲14,786
平成 23 年 12 月 31 日残高	100,000	68,916	41,710	58,093	268,719	268,719
第 3 四半期中の変動額				▲8,574	▲8,574	
四半期純利益						
第 3 四半期中の変動額の合計				▲8,574	▲8,574	▲8,574
平成 24 年 3 月 31 日残高	100,000	68,916	41,710	49,518	260,145	260,145

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書第5経理の状況 (4)個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間収益または期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。
- 会計方針の変更 該当事項はありません。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

(5) 重要な会計方針

1.固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物:17～18年、構築物:15～20年、車両運搬具:4～6年、工具器具備品:3～8年
- (2) 無形固定資産 定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。均等償却によっています。
- (3) 長期前払費用 定額法を採用しています。

2.消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

3.リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る会計処理によっています。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る会計処理によっています。

Ⅱ 第18期（平成23年7月1日～平成24年3月31日）の業績の概況

部門別内訳 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

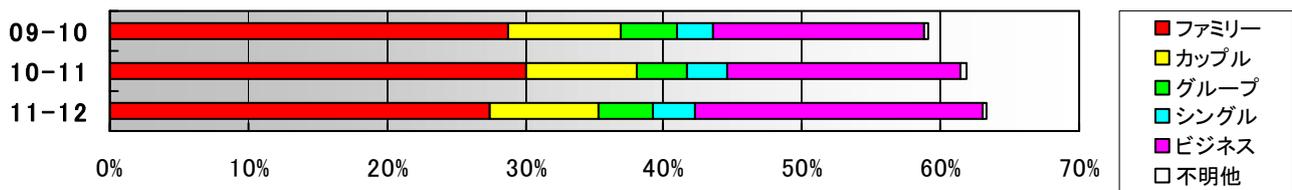
(※1)「前橋南店」「軽井沢店」の売上高は、運営受託店のため、宿泊営業売上ではなく運営受託料売上です。

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第3四半期 H23.1.1～ H23.3.31	第4四半期 H23.4.1～ H23.6.30	第1四半期 H23.7.1～ H23.9.30	第2四半期 H23.10.1～ H23.12.31	第3四半期 H24.1.1～ H24.3.31	当年度 累計 H23.7.1～ H24.3.31		前年度 累計 H22.7.1～ H23.3.31
本社	売上高 経常損益	5,517 ▲12,220	2,480 ▲20,071	246 ▲20,884	2,535 ▲19,886	105 ▲21,706	2,886 ▲62,476	▲50.4% -	5,819 ▲53,842
01 日光鬼怒川店 1995.8 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	6,609 ▲343 46.7%	5,926 ▲621 42.6%	11,650 3,740 58.2%	8,145 708 53.2%	7,865 594 56.5%	27,661 5,043 56.0%	▲14.0% ▲37.6% ▲4.9p	32,160 8,083 60.9%
02 那須店 2000.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,516 ▲256 41.4%	4,722 152 43.2%	9,639 3,981 63.9%	4,873 3 41.5%	4,703 ▲284 37.5%	19,216 3,700 47.7%	▲12.7% ▲39.9% ▲12.4p	21,999 6,160 60.1%
03 秋田六郷店 2000.6 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	1,488 ▲1,596 22.8%	3,341 256 46.2%	6,240 2,662 65.9%	3,220 ▲206 56.2%	1,995 ▲1,126 35.4%	11,456 1,330 52.6%	+15.6% - +11.1p	9,907 ▲82 41.5%
04 山中湖店 2001.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,975 ▲840 40.4%	6,855 755 53.2%	11,892 5,462 74.4%	7,340 1,081 59.2%	5,991 ▲527 51.3%	25,223 6,015 61.6%	▲5.6% ▲14.1% ▲11.7p	26,731 7,006 73.3%
05 沼田店 2001.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	7,300 1,239 85.7%	6,078 627 88.1%	7,977 2,278 79.6%	6,101 438 75.5%	7,729 1,540 82.5%	21,808 4,256 79.2%	▲3.6% ▲9.8% ▲6.3p	22,631 4,716 85.5%
06 水戸大洗店 2001.10 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,206 ▲933 53.2%	4,082 ▲1,034 57.1%	6,096 842 60.6%	3,941 ▲934 48.2%	4,241 ▲1,253 64.0%	14,279 ▲1,344 57.6%	▲21.8% - ▲1.5p	18,267 2,149 59.1%
07 北上江釣子店 2002.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,348 ▲1,623 45.7%	6,204 965 86.3%	8,138 2,449 85.8%	5,379 81 74.4%	4,934 ▲562 63.1%	18,453 1,968 74.5%	+33.0% - +22.4p	13,877 ▲1,237 52.1%
08 仙台亘理店 2004.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,041 ▲1,743 36.9%	7,423 2,126 95.8%	8,198 2,548 92.1%	6,948 1,535 87.9%	6,617 890 89.6%	21,765 4,974 89.8%	+35.0% +1509.7% +34.5p	16,128 309 55.3%
09 小淵沢店 2004.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,773 205 72.2%	6,866 1,528 82.1%	10,898 4,955 94.1%	7,211 1,688 86.1%	6,858 1,066 80.8%	24,968 7,711 87.0%	+6.9% +32.7% +3.7p	23,354 5,811 83.3%
10 前橋南店 2005.7 開業	(※1)売上高 経常損益 客室稼働率	3,557 ▲79 70.8%	3,136 ▲107 67.6%	5,704 1,801 79.9%	3,631 320 70.0%	3,338 ▲212 66.9%	12,674 1,908 72.3%	+0.3% ▲10.7% ▲0.1p	12,632 2,137 72.4%
11 九十九里店 2005.12 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,443 69 73.9%	4,298 ▲419 59.5%	7,471 2,250 79.2%	5,593 526 77.1%	5,718 283 77.9%	18,782 3,059 78.1%	▲11.8% ▲36.4% ▲1.2p	21,302 4,807 79.3%
12 東京新木場店 2006.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	16,417 348 80.4%	11,068 ▲3,704 50.5%	23,893 8,004 85.8%	20,450 3,302 90.4%	19,896 3,885 85.0%	64,240 15,193 87.1%	+4.6% +20.3% +4.1p	61,420 12,626 83.0%
13 千葉勝浦店 2007.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	6,228 729 81.1%	5,102 ▲76 67.1%	8,702 2,924 72.9%	6,004 448 74.5%	6,566 815 77.1%	21,273 4,188 74.8%	▲8.0% ▲29.7% ▲8.1p	23,114 5,954 82.9%
14 軽井沢店 2007.4 開業	(※1)売上高 経常損益 客室稼働率	1,807 ▲1,361 39.1%	3,168 ▲280 52.9%	9,248 4,896 84.9%	3,510 ▲36 50.9%	2,348 ▲1,004 41.8%	15,106 3,855 59.3%	▲1.9% ▲18.1% ▲2.1p	15,406 4,709 61.4%
15 須賀川店 2007.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,571 ▲1,586 46.7%	5,821 737 83.2%	6,428 1,271 74.9%	4,918 ▲375 66.5%	5,340 ▲139 73.9%	16,688 757 71.8%	+1.5% +18.1% +11.8p	16,438 641 60.0%
16 いわき勿来店 2007.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,908 ▲1,582 35.9%	6,790 1,266 89.2%	6,948 1,155 85.3%	6,830 898 84.5%	7,492 1,033 86.6%	21,272 3,087 85.5%	▲1.1% ▲16.5% +30.7p	21,507 3,697 54.8%
17 静岡牧之原店 2007.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,740 ▲540 50.8%	3,695 ▲1,177 35.2%	7,034 1,709 54.1%	3,194 ▲1,807 31.3%	4,173 ▲1,093 50.4%	14,402 ▲1,191 45.2%	▲17.6% - ▲10.0p	17,471 1,378 55.2%
18 金沢内灘店 2007.10 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	2,934 ▲1,865 30.2%	4,346 ▲622 42.6%	8,345 2,979 64.0%	3,770 ▲1,127 37.9%	2,707 ▲2,151 29.2%	14,823 ▲300 43.8%	▲3.4% - ▲2.5p	15,341 28 46.3%
19 韭崎店 2007.12 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,661 ▲416 56.4%	5,810 940 74.0%	8,736 3,244 80.6%	5,325 362 69.0%	4,704 ▲489 63.6%	18,766 3,117 71.1%	+0.3% +7.2% +7.7p	18,705 2,909 63.4%
20 土岐店 2008.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,629 ▲990 46.9%	4,491 ▲975 46.3%	7,314 1,609 64.9%	5,018 ▲662 52.9%	4,290 ▲1,151 42.6%	16,622 ▲204 53.5%	+1.6% - ▲0.8p	16,368 ▲655 54.3%
21 伊賀店 2008.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,861 ▲1,550 33.4%	3,641 ▲1,408 29.7%	6,315 1,139 47.9%	4,327 ▲956 39.7%	3,930 ▲1,292 34.5%	14,573 ▲1,109 40.7%	▲1.0% - +1.8p	14,721 ▲1,656 38.9%

22 壇之浦 PA 店 2008.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	6,617 101 55.2%	7,780 1,195 66.6%	9,315 2,688 61.6%	7,157 802 60.1%	6,961 466 56.3%	23,434 3,957 59.4%	▲7.9% ▲23.4% ▲5.5p	25,442 5,165 64.9%
23 伊勢松阪店 2008.6 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,369 49 51.9%	4,405 ▲507 40.8%	8,050 2,585 61.5%	5,142 0 48.8%	5,579 329 51.6%	18,772 2,915 54.0%	▲0.2% +11.5% ▲1.4p	18,809 2,614 55.4%
24 浜名湖店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,654 ▲1,892 35.8%	4,414 ▲2,747 31.9%	8,393 912 50.6%	4,542 ▲2,290 34.3%	5,154 ▲1,619 39.3%	18,090 ▲2,998 41.4%	▲2.5% — ▲0.8p	18,550 ▲1,207 42.2%
25 佐野 SA 店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	7,307 268 61.7%	7,977 409 68.9%	11,462 4,098 76.9%	9,769 2,560 79.0%	8,967 1,460 74.0%	30,199 8,119 76.7%	+10.7% +39.9% +7.0p	27,284 5,804 69.7%
26 新潟南店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,711 ▲1,920 43.2%	4,142 ▲2,772 41.3%	9,282 2,749 66.1%	4,483 ▲1,426 49.3%	4,263 ▲1,749 51.3%	18,029 ▲426 55.6%	+7.7% — +4.2p	16,736 ▲292 51.4%
27 奈良針店 2009.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,513 ▲327 51.3%	6,171 ▲130 61.9%	7,440 1,465 48.4%	5,804 75 53.3%	4,029 ▲1,641 34.7%	17,274 ▲100 45.5%	▲24.6% — ▲17.1p	22,907 4,688 62.6%
28 彦根店 2009.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,743 ▲914 40.9%	5,512 ▲1,636 47.1%	8,384 2,007 60.2%	6,530 203 64.0%	5,537 ▲523 54.0%	20,453 1,688 59.4%	+9.2% +111.0% +8.8p	18,727 800 50.6%
29 桑名長島店 2009.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	12,149 4,413 87.1%	8,730 563 65.3%	14,656 7,056 92.2%	12,500 4,547 93.2%	13,068 5,114 92.2%	40,225 16,719 92.5%	+7.0% +9.2% +5.2p	37,588 15,315 87.3%
30 寒河江店 2009.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,445 ▲1,927 36.1%	5,294 ▲1,324 47.4%	8,458 2,569 67.2%	4,709 ▲1,149 45.5%	4,212 ▲1,591 41.9%	17,381 ▲171 51.6%	+7.3% — +2.6p	16,191 ▲774 49.0%
31 高松店 2011.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	— ▲130 —	— ▲874 —	5,787 ▲510 37.9%	3,684 ▲1,678 29.9%	4,024 ▲1,357 32.5%	13,496 ▲3,546 33.4%	— — —	— ▲140 —
32 富士吉田店 2011.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	— ▲11 —	— ▲787 —	12,688 5,191 80.2%	7,758 1,390 54.7%	7,453 817 53.1%	27,900 7,399 62.2%	— — —	— ▲895 —
33 袖ヶ浦店 2011.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	— ▲6 —	— ▲217 —	4,491 ▲734 48.9%	5,832 372 67.4%	6,329 633 75.5%	16,653 271 65.6%	— — —	— ▲6 —
34 宮島 SA 店 2011.11 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	— ▲6 —	— ▲124 —	— ▲60 —	— ▲1,760 60.8%	4,856 762 61.5%	7,214 762 61.2%	— — —	— ▲6 —
35 富士都留店	経常損益	—	—	—	▲0	▲400	▲400	—	—
36 秩父店	経常損益	—	—	—	—	▲283	▲283	—	—
37 北九州八幡店	経常損益	—	—	—	—	—	—	—	—
全社合計	売上高 経常損益 客室稼働率	162,052 ▲29,240 52.2%	169,781 ▲30,097 58.0%	295,535 71,046 69.8%	211,047 ▲12,948 61.1%	204,345 ▲22,467 59.4%	710,928 35,629 63.4%	+9.8% ▲23.7% +1.6p	647,547 46,718 61.8%

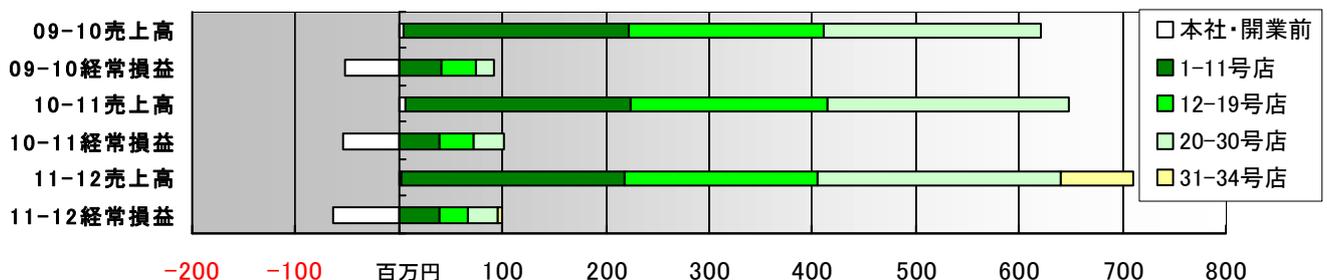
客室稼働率(全店通算、構成内訳)の推移

(平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)



売上高・経常損益(全社合計、出店時期別)の推移

(平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)



震災と原発事故の影響により前年割れの状況が続いていましたが、稼働率については第 2 四半期に前年同期の水準に戻り (61.0→61.1%)、第 3 四半期は前年同期を大きく上回り (52.2→59.4%) ました。この結果、第 3 四半期の経常損失は 7 百万円近く減少 (▲29,240→▲22,467 千円) しました。この結果、年度累計でも、稼働率・売上高が前期を大きく上回り、経常利益も前期水準に近づいてきました (46,718→35,629 千円)。

なお、特別利益の 15,768 千円は、原発の風評被害による賠償金によるものです。

Ⅲ 第18期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	第16期 通期実績 H21.7.1～ H22.6.30	第17期 通期実績 H22.7.1～ H23.6.30	第18期				
			第1四半期実績 H23.7.1～9.30	第2四半期実績 H23.10.1～12.31	第3四半期実績 H24.1.1～3.31	第4四半期予想 H24.4.1～6.30	通期予想 H23.7.1～H24.6.30
売上高	797,356	817,329	295,535	211,047	204,345	209,073	920,000
経常損益	18,524	16,621	71,046	▲12,948	▲22,467	▲15,631	20,000
当期純損益	11,226	9,929	69,195	▲14,786	▲8,574	▲21,835	24,000

経常損益は、前年同期に比べ、第1四半期は▲15,141千円、第2四半期は▲2,720千円でしたが、第3四半期は+6,773千円と急回復しています。第4四半期については、震災直後で業績が悪化した前年同期に比べさらに大きな回復が見込まれるため、売上高の予想数値は20,000千円上方修正、経常利益は変更していません。

当期純利益の予想額については、原発事故に関わる風評被害の賠償金(4月に支払われた分を含め17,798千円)が特別利益となりますが、これに伴い税務上の欠損金控除を越える課税所得が発生し税負担が生じる見通しのため、差し引き12,000千円の上方修正とします。

Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	第17期第3四半期 H23.1.1～3.31	第17期第4四半期 H23.4.1～6.30	第18期第1四半期 H23.7.1～9.30	第18期第2四半期 H23.10.1～12.31	第18期第3四半期 H24.1.1～3.31
現金および預金の増減額	▲15,085	▲61,670	+56,977	+55,949	▲76,722
現金および預金の四半期首残高	214,963	199,878	138,207	195,184	251,133
現金および預金の四半期末残高	199,878	138,207	195,184	251,133	174,411

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て) 1年以内返済予定額は短期借入金として表示しております。

科目	第17期第3四半期 H23.1.1～3.31	第17期第4四半期 H23.4.1～6.30	第18期第1四半期 H23.7.1～9.30	第18期第2四半期 H23.10.1～12.31	第18期第3四半期 H24.1.1～3.31
短期借入金の増減額	+23,920	▲39,384	+14,668	+30,810	▲32,774
短期借入金の四半期首残高	111,376	135,296	95,912	110,580	141,390
短期借入金の四半期末残高	135,296	95,912	110,580	141,390	108,616

借入金の減少は、約定返済の差額によるものです。

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て) 1年以内返済予定額は短期借入金として表示します。

科目	第17期第3四半期 H23.1.1～3.31	第17期第4四半期 H23.4.1～6.30	第18期第1四半期 H23.7.1～9.30	第18期第2四半期 H23.10.1～12.31	第18期第3四半期 H24.1.1～3.31
長期借入金の増減額	▲7,887	▲7,085	▲7,165	+40,835	+34,283
長期借入金の四半期首残高	91,727	83,840	76,755	69,590	110,425
長期借入金の四半期末残高	83,840	76,755	69,590	110,425	144,708

借入金の増加は、りそな銀行からの借入(50,000千円、3月実行)と約定返済の差額によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第18期第3四半期末(平成24年3月31日)時点(千円未満は切り捨てて表示)

85,866千円	… 借上直営店における差入れ保証金(契約満了時返済)
14,750千円	… 「軽井沢店」における建設協力金(10年均等償却)
2,166千円	… 借地直営店における借地権利金(20年均等償却)
18,707千円	… 保険料積立金
1,210千円	… 取引信用金庫などへの出資金
合計 122,700千円	

V 今後の事業展開と出店計画について

「富士都留店」「秩父店」のオープン日が決定

建築中の「富士都留店」と「秩父店」のオープン日を、それぞれ7月1日（日）、7月7日（土）に決定しました。これにより、今年の夏休み前までに店舗数は36となる予定です。

「北九州八幡店」の出店が決定

すでにお知らせしたとおり、「富士都留店」と「秩父店」に続き、「北九州八幡店」の出店が決まりました。九州地方初の出店で、オープンはこの年の秋の予定です。

「宮島SA店」に非常用発電機を設置

昨年3月の東日本大震災での悔しい思いを繰り返さないため、新規店舗についてプロパンガスを利用した非常用発電機の常設を標準化することとし、すでに「袖ヶ浦店」「宮島SA店」に設置しました。平時は不要なものであり、導入決定には社内でも議論のあったところですが、多様な方々に安心して快適に宿泊いただくことが当社のポリシーであり、バリアフリールームや誰でもトイレと同様、標準化を決断した次第です。



「日光鬼怒川店」の営業長期継続を決定し、大幅リニューアルを実施

1号「日光鬼怒川店」は、1995年のオープンから今夏で17年を経過し、借地契約期間20年の満了まで3年となっていますが、このたび土地所有者と契約を結びなおし、営業を長期継続することとしました。これは、これまでご愛顧いただいたお客様を大切にしたいということに加え、日本にもアメリカのMOTELのような誰もが気軽に利用できる宿泊施設のインフラを築くというのが当社の事業目的であり、店舗の撤退によって空白地帯が生じることを避けたいという考えによるものです。なお、この決定にともない、夏までに大幅なリニューアルを行う計画です。

3店舗の名称を変更

4月中旬より、以下の3店舗の名称を変更しました。

- ・「北上店」→「北上江釣子店」
…所在地が北上駅近くではなく、東北自動車道・北上江釣子 IC そばである特徴を明確に伝えるため。
 - ・「牧之原店」→「静岡牧之原店」
…牧之原の知名度が低く、静岡という県名を冠して所在地を明確にするため。
 - ・「松阪東店」→「伊勢松阪店」
…元々松阪市内ではなかったが、旧国名である伊勢を冠し、お伊勢詣りに便利な特性を強調するため。
- そもそも、店舗の名称決定については、広範な人々に所在地を想起いただけること、できれば地域の魅力や特徴を暗示できること、地元で配慮し隣接地域名の借用等を避けること、などを基準として決定しています。長年親しまれた店舗名を安易に変更することは望ましいことではありませんが、あらためて基準に照らして見直しを行い、店舗の場所や特徴をよりわかりやすくするため、変更に踏み切ったものです。なお、変更するのは名称のみで、営業内容などについてはすべて従来どおりです。

新聞に広告を掲載

従来、マス媒体への広告掲載はほとんど行っていませんでしたが、廉価での提案があり、以下の新聞広告を実施し、資料請求など大きな反響がありました。

- ・2月25日(土) 朝日新聞（東京本社版）朝刊 全7段
- ・4月19日(木) 毎日新聞（九州本社版）朝刊 半5段



なお、5月中旬に、毎日新聞（東京本社版）朝刊に全7段のカラー広告を掲載する予定です。

以上